

漢字展

— 4000年の旅

4000 Years of Chinese Characters in East Asia

Kanji

会期

2019年5月29日(水)

~

9月23日(月・祝)

All exhibits with English explanations.

日本最大級の本の博物館

 東洋文庫ミュージアム

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280

入館料 ◆ 900円(一般)・800円(65歳以上)・700円(大学生)
◆ 600円(中・高校生)・290円(小学生)

アクセス ◆ 駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
千石駅 (都営地下鉄三田線A3番出口) 徒歩7分
都営バス上58系統・茶51系統「上富士前」徒歩1分

開館時間 ◆ 10:00~19:00 ※最終入館は閉館の30分前まで

休館日 ◆ 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)
9月13日(金)は14時最終入館、15時閉館とさせていただきます。

主催 ◆ 公益財団法人 東洋文庫、読売新聞社

後援 ◆ 公益財団法人 日本漢字能力検定協会、
漢検 漢字博物館・図書館、株式会社 大修館書店



Toyo Bunko Museum

漢字をめぐる 4000年の旅へ、いざ出発

古代中国で誕生した漢字は、世界史上もっとも字数が多い文字といわれています。日本へは5世紀頃に伝来し、日本語の発達および学問、文化と切り離せない存在です。本展では、漢字の成り立ち、漢字文化圏の広がり、日本における漢字文化、文字の由来など、日常的に使っていながら意外と知らないことの多い漢字にまつわる様々な知識を、国宝を始めとする文化財を中心とした展示によって分かりやすく紹介いたします。

【ミュージアム講演会】

※要予約、参加費無料(入館料が別途かかります)

◇6月23日(日) 14:00 ~ 15:30

「漢籍と文庫—東洋文庫を中心として—」

講師：高橋 智 (慶應義塾大学教授)

◇7月21日(日) 14:00 ~ 15:30

『大漢和』の時代—昭和の大出版は如何にして成ったか—

講師：池澤 正晃 (元大修館書店編集部)

【ミュージアムワークショップ】

※要予約、参加費無料(入館料が別途かかります)

◇8月4日(日) 13:30 ~ 15:00

「論語から生まれた、

大人も読めない書けない四字熟語ワークショップ」

講師：小島 毅 (東京大学教授)

主催：論語教育普及機構

東洋文庫アカデミア 展示コラボ講座

◇6月29日～9月7日(指定土曜日・全7回、各回2,900円)

『漢字の歴史と最新の動向』

笹原 宏之 (早稲田大学教授)、

阿辻 哲次 (京都大学名誉教授)、他5名

上記の講演会、ワークショップ、アカデミア講座はすべて事前のお申し込みが必要です。定員に達しましたら締め切らせていただきます(先着順)。詳しくはホームページをご覧ください。



『甲骨卜辞片』(紀元前14世紀～前11世紀)
最初期の漢字が刻まれています。



『万葉集』(江戸初期書写)中院家に伝わる写本です。
新元号「令和」の元となった文章がかかれています。

その他の主な展示資料

国宝『史記 秦本紀』司馬遷 平安時代書写
重要文化財『論語集解』何晏撰 鎌倉時代書写
『永楽大典』1562年書写
『科学の答案(殿試策)』金榜 1772年

漢字クイズ



このクワガタのような文字は、今の漢字にすると何になるでしょうか？

ヒント：顔の一部をあらわす漢字

答えは展示室まで！

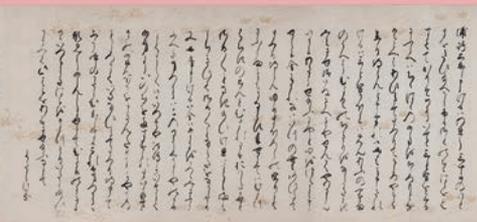


本展は五島美術館・大東急記念文庫、神奈川県立金沢文庫、慶應義塾大学ス道文庫、静嘉堂文庫、東洋文庫の五文庫連携展示「特殊文庫の古典籍—知の宝庫をめぐる珠玉の名品と出会う—」に参加しています。

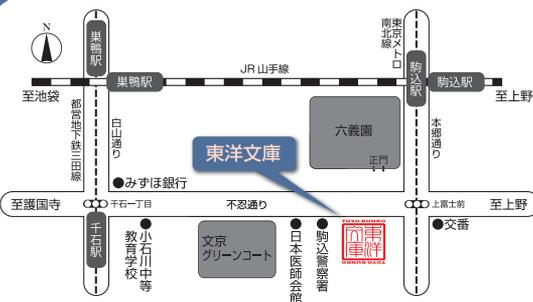


J-CASTニュースにて
企画展コラム好評連載中！

同時開催 ◇記録された記憶～東洋文庫の書物からひも解く世界の歴史◇



『浦島太郎物語』(江戸時代初期)



交通案内：

駒込駅 (JR 山手線南口、東京メトロ南北線 2 番出口)

徒歩 8 分

千石駅 (都営地下鉄三田線 A3 番出口) 徒歩 7 分



東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21

TEL : 03-3942-0280

<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

※ミュージアムショップ

「マルコ・ポーロ」

(10:00 ~ 19:00)

※レストラン

「オリент・カフェ」

(11:30 ~ 21:30)

03-3942-0400

ご予約の際はレストランに

直接お電話ください